

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

男子Aリーグ戦

岡山県選抜

8

3	－	0
2	－	1
2	－	0
1	－	0

1

宮城県選抜

PSO

審判：

武松 直輝

縄井 裕平

この試合のプレー集計

岡山県選抜	22	SH数	15	宮城県選抜
	5	速攻数	0	
	13	ST・SB	6	
	2	SH・P誘発アシスト	0	
	80%	GK阻止率	47%	
9	EX反則数	2		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

両チームともに2敗と、予選リーグ敗退が決まっているが、現時点の力を振り絞って最後の試合を有意義なものにしてほしい一戦。

【1P】

双方、動きの少ない序盤となり、なかなかシュートにまで至らない展開が続いたが、ピリオド中盤ようやく岡山が②杉本のシュートで先制点をマーク。続けて、岡山は退水を誘発し、そこを⑦服部が決めて2点目。徐々に岡山ペースとなってきた序盤。宮城にもチャンスは巡ってくるが、泳ぎのスピードが不足して岡山側に簡単に戻られてしまってボールを失う展開。そこを岡山⑦服部が決めて3点目をマークして第1ピリオド終了(岡山3-0宮城)。

【2P】

宮城はダブルエクスクルージョン(2名退水)で絶好機を作り、そこを⑩遠藤が決めてようやく1点を返す。昨日の京都戦が無得点だっただけに久々のゴールとなった。しかしすかさず岡山⑤竹藤が決めて、岡山の優位は動かない状況だ。さらに宮城の攻撃ミスをつく形で⑤竹藤が連続得点で突き放す。泳力に劣る宮城は人数をかけない攻撃だが、そのため守備的なポジショニングのため、岡山の攻撃も全くテンポアップできず、ある意味、宮城の戦い方に岡山側が合わせてしまう展開で前半を折り返した。それでも岡山5-1宮城という岡山有利は変わらない。

【3P】

リードした岡山は退水誘発プレー場面でのパス回し問題は相変わらずで、なかなかシュートにまでボールを運べない。逆に宮城の方が元気よくプレーし、このピリオドではシュート数では岡山を上回った。しかしゴールに至るほどの勢いはなく、宮城の攻撃時のミスから岡山が2点をあげて、さらに点差を広げた。

【4P】

ピリオド序盤、宮城は退水を誘発してチャンスをつかむが、ミスで自滅。その流れでペナルティ反則を喫してしまって失点。悪循環がなかなか止まらない状況だ。失点直後の宮城側の退水誘発では間髪を入れずにベンチはタイムアウトを取って、懸命に点を取りに行こうとするが、パスを回さない状態でのシュートでは岡山の守備は崩れず、失敗に終わってしまった。岡山は選手交代して中学生主体でもミスが多く、宮城にチャンスは巡ってくるがなかなかゴールを決められない。残り1分を切って、宮城が退水を誘発。最後の望みとタイムアウトを取って懸命に攻撃するも実らず、岡山8-1宮城で試合終了。

これで両チームともに本大会は終了。予選リーグ敗退が決まったわけだが、攻撃時の安易なミスはどう改善していくか。退水攻撃など、まずは小さなエリアでのパスワーク練習やゴール前ドライブに合わせたジャストパス練習など、パスそのものが自チーム側のコミュニケーションにするような練習を積み上げてレベル向上を目指してもらいたい。